

第26週12月18日(晴れ)

聖園学園グランド

第1試合【6回戦】浜友4勝2敗

2回目のプレーオフの優勝は浜友！長かったシーズンを締めくくる。

	(0)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(0)	計	安打
浜風	0	0	1	2	0	1	0	4	(8)
浜友	2	0	1	0	0	0	2	5	(4)
	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)		

【勝】後藤 10勝 1敗 4S
【敗】柴田 3勝 2敗 5S

MVP: 安藤

二塁打: 大和谷・佐藤満・佐々木(浜風)

浜友				浜風											
守	氏名	打数	安打	打点	通算打率	守	氏名	打数	安打	打点	通算打率				
7	後藤	1			.417	8	大和谷	3	1		.273				
2	犬塚	1			.491	6	新川	2	1	1	.517				
6	石川伸	2		1	.393	5	柴田	2		1	.348				
8	中路	2	2		.417	3	与儀	2			.390				
1	加藤誠	1			.200	1	佐久川	2	1		.343				
3	高須賀	3			.310	2	中塚	2	1		.390				
9	安藤	2	1	2	.333	D	野村	2	1		.200				
D	渡辺	3			.395	D	高野	2			.250				
D	田中	2			.262	D	佐藤満	2	1		.300				
D	小林正	2			.164	D	太刀岡	1	1		.313				
4	小林孝	2	1		.259	9	小西	2			.294				
D	館	1			.114	7	佐々木	2	1	1	.325				
5	渡部	2			.256	D	須貝	2			.156				
						D	丸山	2			.096				
						D	時長	2			.182				
チーム計				24	4	3	.167	チーム計				30	8	3	.267

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
加藤誠	4	6		3	3	佐久川	4	2	7		3
後藤	3	2	1	2	1	柴田	2 2/3	2	1	3	2
チーム計	7	8	1	5	4	チーム計	6 2/3	4	8	3	5



痺れる場面での同点打
本当に良いトコで打ち
ました(安藤)



プレーオフにもなったように最終回までもつれた展開になった。お互いにガチンコであり、ほぼフルメンバーでの試合。幕切れはあっけなくしてしまっただが。一回表、シーズン途中加入で華々しくデビューした浜友の先発加藤は無難な立ち上がりで三者凡退。裏、一年間浜風のエースとして君臨していた佐久川がピリッとしない。球にいつもの勢がなく、ワンバウンド投球も目立ち、5四球を与え2失点する。一步間違えば一気に決まり兼ねない内容だったが、よく凌いだという感じ。二回浜風も一死二、三塁のチャンスをつくるが後続が倒れ無得点。その裏浜友も二死二、三塁で無得点。三回佐藤の二塁打の後、太刀岡のライト前を一塁で刺そうとするも一塁手が取れずに失点してしまう。その裏、またも四球を足場に失点してしまう。四回、浜風はラストバッター時長の失策出塁から大和谷、新川の連続長短打で同点に追いつく。加藤は寒さもあるのかデビュー時のインパクトは鳴りを潜めていた。佐久川はその裏を三者凡退に退け面目躍如でなんとか先発の役目を果たす。五回、お互いの二番手投手後藤、柴田も気合いの入った投球を見せる。柴田はあのスローボールを封印した。六回、太刀岡が四球で出塁するも小西の投ゴロでチャンスを潰したかと思われたが、暴走ともとれる盗塁で二進し、佐々木の右翼へのあたりが二塁打となり逆転する。その裏柴田は失策出塁があるものの二三振を奪って締める。七回、後藤も三者凡退に打ち取り逆転の望みをつなぐ。中路が中堅前安打で出塁。力んだのか加藤に死球を与えて一死一、二塁。続く高須賀が遊ゴロで二死となり、万事休すかと思われたが安藤が右翼前安打で同点とする。渡辺の二ゴロで延長戦が見えたが、一塁への悪送球であっけない幕切れとなった。

(港: 早川)